

東北プログラム事後報告会、アクティブラーニング報告会が開催される

2017年11月30日（木）、東北プログラムの参加メンバーにより、プログラムのふりかえりを行う報告会を開催した。当初は政治学科全体に呼びかけを行い、春休み期間に板橋校舎で全体報告会を行う予定であったが、日時の確保が難しく、調整の結果参加者メンバーのみでの報告会となった。

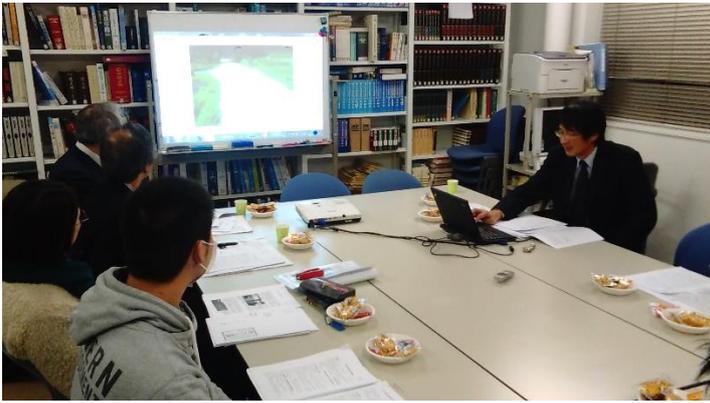
当日は、各自が担当した報告書を持ち寄り、担当箇所についての報告とプログラムへの参加で学んだことについて発表していった。現地視察からちょうど2ヵ月を経過した日であり、現地で見えたこと、感じたことが少しずつ記憶から薄れていくようであった。しかしそれぞれの発表により、再度それらが鮮明に蘇ることになり、短時間ではあったが非常に充実した時間となった。

今回の報告会で東北プログラムの日程は全て終了した。大変実りのあるプログラムとなった。それらは「東北プログラム報告書」として別途ホームページに掲載する予定である。



それぞれの報告を行う様子

また、2017年12月13日（水）には、大東文化大学法学部国際比較政治研究所で藤井講師による「町並み保存の研究」の報告会が行われましたが、そこに、南砺プログラム・沖縄プログラムの参加者による町並み保存調査同行の感想と、登別の政策フォーラム、東北視察の印象が披露されました。政治学科の教員を中心に、またプログラムに関心を持つ職員の皆様にも参加いただき、意見交換が行われました。



藤井講師の発表の様子



アクティブ・ラーニングに参加したメンバーからの簡単な報告の様子